

# 学びだより

『夢中で学ぶ子』

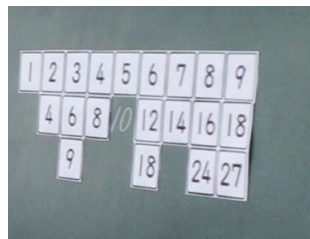
～進んで対話し、根拠をもとに自分の考えを豊かに表現する力を育む授業づくり～

和泉市立信太小学校  
授業改善担当 辻川翔太  
令和4年12月22日  
第7号

## 2年生 算数「かけ算のきまりを見つけよう」

12月14日（水）5時間目に、2年1組で算数の研究授業を行いました。単元は「かけ算のきまりを見つけよう」です。この日までに、かけ算の意味を（1つ分の数）×（いくつ分）＝（全部の数）であることを知り、1～9の段の九九を構成したり、覚えたりしてきました。当日は、九九表を構成する過程で、九九のきまりを見つけしていくことをねらいとしました。授業の様子は以下のようになりました。

数字が書かれたピースを並べて、数字パズルをつくっていききました。



あ～、2増えてる！  
3、6、9・・・（縦に見たら）3ずつ増えてる！

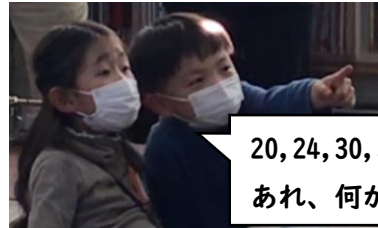
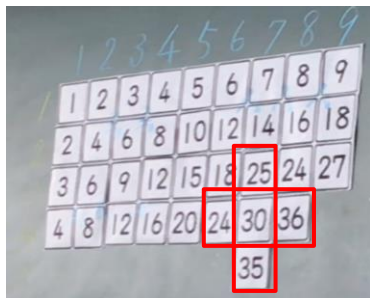
これは九九や！2の段だから、2とびで・・・。



気づいたことを自由に表現していく2年1組の子どもたち。ピースを並べていくと、九九であることに気づきだしました。「2ずつ増えていってる」「そうそう！」など、友だちの気づきに自分から関わろうとする素敵な姿が見られました。



途中、先生が1つのピースを並べると、「なんかちがう！」とつぶやく子どもたち。気づいたことをペアの友だちと進んで対話していました。



20, 24, 30, 36・・・  
あれ、何かちがう！

「ちがうところがある！」と思った理由を、かけ算のきまり（かけられる数ずつ増えていく）を使って説明しました。かけ算のきまりを根拠にして考えを表現する姿です。

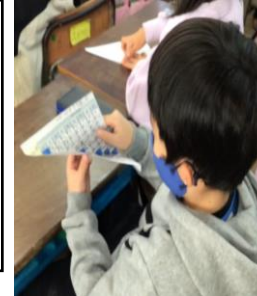


やった～！  
かけられる数ずつ増えていくきまりを使って九九表を完成させました。

後日、2年2組でも同じ授業を行いました。完成した九九表をもとに、さらなるきまりを発見していく授業展開となりました。気づいたことを九九表に書き込んだり、ペアの人に伝えたりしながら学習を進めました。すると、1人の子が九九表の対角線（1～81）を軸にして、半分に折り曲げました。すると、九九表の同じ数同士が重なるのです。「おお～！」「ほんまや！同じ答えが重なる！」など発見を喜ぶ声が教室に響きました。



九九表に気づいたことを書きました。折り曲げみると・・・。



2×1したら2で、1×2にして反対にしても答えは同じ。他にも・・・。

前号で、算数では「気づき」「発見」を大切にしてほしいと書きました。2年1組・2組ともに「気づき」「発見」を大切に、それを自由に自分らしく表現する姿が見られました。その姿は、先生から出された問題に答えることや、ドリルやテストでいっぱい正解したりすることだけを目的にしては見られない姿です。

研究授業の後は、教員がグループごとに分かれ意見交流しました。

【事後研での話し合いより】

- 授業のはじめから、すごく楽しそうな雰囲気があったよってきて、子どもたちもすごく興味をもって学習している姿が印象的でした。
- 子どもたちの言葉を大切にしている先生の姿がとても印象的で、子どもたちが自分も話したいと思う雰囲気が素敵でした。
- 子どもたちの手元に九九表があれば、更なる発見があったのかなと思いました。その発見を書くための一人で学ぶ時間を大事にしたい。
- 子どもたちが考えを分かり合うための言葉を想定しておく。言葉の力をどう育てていくか？

九九表からきまりを見つけ、自由に自分らしく表現する姿が見られました。今後は、気づきや発見を、誰にでも伝わる言葉で表現することも大切にしながら取組みを進めていきます。